

都留の野ぼとけ(八)

馬頭観音

鈴木茂治

野ぼとけのなかで、なんといても数が多くて、どこへ行ってもかならずと言っていいほど目につくのが「馬頭観音」さまです。

この観音さまは、もともと不動さまと同じような怖い顔の明王さまでしたが、頭上に馬首を載せていることから馬頭観音と呼ばれ、いつの頃からか馬の供養や無病息災を祈って建てられるようになって、お顔も優しくなりました。

馬は大昔から、人間の生活になくてはならぬ大切な動物でした。今の生活でいえば、馬は乗用車、トラック・エンジンのような力強い動力源だったのです。

だから、村人たちはだいたい馬が死ぬと、感謝をこめて馬頭観音の碑を建て、働きものだった馬の



朝日曾雌・馬頭観音

馬頭観音もほかの野ぼとけと同じように、尊像碑と文字碑があります。だいたい、古い江戸時代のもは尊像碑が

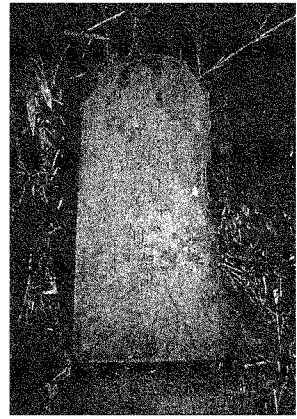
後生と安楽を願ったのでした。

馬頭観音群

馬頭観音は、一体だけで立っていることは少なく、

多くの場合、数体または数十体が並んで立っていらっしやいます。これが「馬頭観音群」です。これは、最初の馬頭観音の所の観世音菩薩さまにはわが馬の供養も頼めると考えて、次々に馬頭観音が建てられていったのでしょう。だから、一群の中には古いもの・新しいもの・中には「お地藏さん」や「庚申さん」まで混在している群もあります。

市内には、この馬頭観音群がたぐさんあって、はっきりした数はまだつかめていませんが、現在の主な確認地は、下細野・熊井戸・羽根子・井倉・四日市場赤坂・川棚・鹿留芝草・下小野・中小野・朝日曾雌、境などですが、探せば案外な所にもっとありそうです。



中津森・道標馬頭観音

多く、市内で一番古いのは、明和九(一七七二)年の銘がある川棚馬頭群の中のものです。また、上の写真の朝日曾雌小俣正市さんの方の馬頭観音は、碑高六三センチで市内では最大ですが、なによりも保存がよく、立派できれいな浮彫立像です。

馬頭観音文字碑

明治以降の新しい馬頭観音は、ほとんどが文字碑といっていいでしょう。いちばん新しいと思われるのは、なんと昭和五十八(一九八三)年に建てられた赤坂群の左はしの馬頭観音です。その頃なお馬の供養をしてあげた人の、心優しさが偲ばれるいい文字碑ですね。右の写真は、中津森の玉泉院という廃寺跡に立っている珍しい馬頭観音です。この碑の彫銘には、「右ハツカリ(初狩)・左山道」とあり、道標の役目も果たしている「一石二彫?」の文字碑です。

都留文科大 公開講座

今回は、コンピューター講座を開講します。本学において十月から利用開始した、インターネットを接続したマルチメディア情報教育教室で、インターネットを實際に経験して頂くほか、あふれる情報環境について、正しく現状を理解し、認識を深めるための講座です。

市民の皆さんの多数の参加をお待ちしています。

日程 11月20日(土)22日

午後7時~9時30分

講師 都留文科大教員

情報センター職員

外部講師

会場 都留文科大2号館

4階コンピューター室

受講料 3000円(テキスト、

ディスクセット代含む)

受講するための前提条件

ウィンドウズの操作が出来る

ワープロ文書の作成が出来る

受講人員 30人(満席になり次第

締め切ります。)

申込期限 11月15日

申込・問合先

都留文科大総務課入試広報係

☎(43)4341(内線209)

秋季講演会

都留文科大、国文学科・国語国文学会では、恒例の秋季講演会を開催します。多数ご来場をお待ちしています。

日時 11月29日 午後7時開演

場所 都留文科大2号館 101教室

講師 詩人 那珂太郎先生

演題 萩原朔太郎と私

入場料 無料

●電話のご相談もお受けします

☎0552-22-8335(直通)

相談日 月曜日から金曜日午前9時30分~12時
午後1時~4時40分(祝祭日を除く)

◎専門の相談員が親身になってご相談に応じます。

◎弁護士相談日:毎月第3木曜日午後1時~4時

無料

交通事故 ご相談

社団法人 日本損害保険協会 甲府自動車保険請求相談センター

甲府市丸の内3-1-6住友生命山梨ビル3階甲府調査事務所内☎0552-28-8810